

厚生連だより 第51号 かみつが

発行

上賀賀厚生農業協同組合連合会
上賀賀総合病院
老人保健施設かみつが

編集

上賀賀総合病院年報等編集委員会
〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033
TEL 0289-64-2161

第四十一回関東農村医学会学術総会 特別講演



ご挨拶

上賀賀厚生農業協同組合連合会
代表理事 会長 黒本 一郎



厚生連だよりかみつが第五十一号の発刊にあたりご挨拶申し上げます。

J・A並びに関係機関の皆様には、日頃から厚生連の医療・保健・福祉事業運営にあたりまして、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

上賀賀厚生農業協同組合連合会(厚生連)は、昭和十年に上賀賀総合病院を設立し、平成八年に老人保健施設かみつが、訪問看護ステーションひばり、在宅介護支援センターかみつがを開設、さらに、平成二十年に鹿沼中央地域包括支援センターを開設し、五事業所を運営しております。

厚生連は、日赤、済生会とともに公的三団体として、それぞれに社会的使命を持っています。日赤は災害医療、済生会は生活困窮者の医療、厚生連は地域医療です。全国に日赤は九十二病院、済生会は八十病院、厚生連は百十一病院ありますが、厚生連病院は郡部に位置する病院が多く、人口十万人未満の地域に立地する病院が約六割を占めます。それだけに地域医療の担い手になってきました。上賀賀厚生連は、栃木県県西地域の医療・保健・福祉を確保するため、診療・看護体制の充実強化など、地域の拠点病院及び施設として急性期医療と在

宅復帰に向けた事業の充実を図つてまいります。

上賀賀厚生連が運営する上賀賀総合病院においては、新病院建設中であり、本館工事は、平成二十六年九月末に完成し、十月に竣工式を執り行い、十月二十日に完全オープンになります。

また、北側の古い病棟を壊して、駐車場にする旧病棟解体工事、駐車場整備工事、地上十二メートル高上げ式ヘリポート工事は、平成二十八年二月頃完成予定です。皆様には、何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますがご理解・協力をお願い致します。

新病院の医療機器は、がん治療放射線治療装置(リニアアック)をはじめ、磁気共鳴断層撮影装置(MR3.0T)、X線コンピュータ断層撮影装置(CT128列)、R1診断装置、乳房X線撮影装置などを最新の設備に更新整備致します。

医師不足、看護師不足、消費税増税等、非常に厳しい経営環境の下、地域の公的基幹病院として、1次2次救急病院、へき地医療拠点病院、がん診療連携拠点病院、脳卒中地域拠点医療機関、災害拠点病院等の役割を果たし、地域社会の発展に貢献する使命を全うして参ります。

老人保健施設かみつがにおいては、医療も介護も、滞在型も通いのサービスも提供する老健に対する期待は大きく、住み慣れた地域での生活支援を基本理念に家庭復帰、在宅生活支援施設としての使命を果たしてまいります。

今後とも皆様のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

認知症疾患医療センターの開設

認知症疾患医療センター長・副院長

衛藤 進吉



当院は、平成二六年二月一日付けで栃木県知事から指定を受け、「認知症疾患医療センター」（以下、センターという）を開設いたしました。

県西地域の皆様のご利用をお待ちしています。

今や認知症は国民病

平成二五年の厚労省研究班の調査による推計値では、平成二四年には全国の認知症患者数は約四六二万人で、その予備軍（軽度認知障害）の約四〇〇万人を加えると、六五歳以上の四人に一人を占めています。認知症はそれくらい身近な健康問題です。

戦後の団塊世代が二斉に七五歳以上となる二〇二五年は、更に認知症高齢者の増加が予想されています。そのため、医療の「二〇二五年問題」と

呼ばれています。「入院医療から在宅医療へ」大きく方向転換を行わなければ、医療介護福祉体制が破綻してしまう危機的状况にあります。

オレンジプランが始動

このような厳しい社会状況の下で、厚労省は「オレンジプラン」と呼ばれている認知症施策推進五カ年計画を立ち上げました。平成二五年度から始まり、二九年度までの五カ年で、来たるべき将来を見すえて、地域における認知症医療・介護・福祉体制を整備するために立てられた医療計画です。

それによると、認知症の早期診断・早期対応を進め、地域での医療・介護・福祉連携を整え、認知症の人の地域生活を支える地域ケア体制の構築を目指しています。

そのなかで重視されているのが、早期診断・早期対応、急性期対応、地域での生活を支える医療・介護・福祉サービ

スの調整、更に、医療・介護サービスを支える人材を育成することです。

これらの機能を担うのがセンターです。

センターの目的は？

センターは、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、専門医療相談、認知症患者に関する鑑別診断、医療・介護方針の選定、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療等を実施すると共に、地域保健医療・介護関係者への研修等を行うことにより、県西地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的としています。

センターの業務は？

一）認知症疾患に関する専門医療相談

専門の相談員（精神保健福祉士）が、電話や面談により、認知症に関する悩みや不安のあるご本人、ご家族等からの様々な相談を受け付けます。

地域包括支援センター等と連携を図り、介護施設や介護サービス事業所等の介護サービス利用などを調整します。

専門医療が必要な場合に

は、外来受診や入院についての相談に応じています。

二）認知症疾患の鑑別診断・初期対応

鑑別診断や治療方針の選定が必要な方については、センターにて認知症疾患の診断を行うための検査（MRI、CT、SPECT、心筋シンチ、心理テスト、血液検査等）や診察等を行い、診断に基づいて治療方針や初期対応方針などを策定いたします。

三）認知症疾患の合併症・周辺症状への急性期対応

合併症や周辺症状（幻覚、妄想、徘徊等）に対する診断や治療を行います。入院治療が必要であれば当院ならびに連携する医療機関で急性期の入院治療を行います。

四）情報センター

ホームページやパンフレット等により認知症に関する情報提供を行い、また、関係機関や市民に対して、認知症に関する知識の向上を図るための研修会や講演会等を開催します。

センターへのアクセスは？

認知症に関連した問題がある場合、まずは当センターの専

用相談受付窓口で電話して下さい。担当の精神保健福祉士が、相談内容によって、診断と対応、合併症や周辺症状の対応、地域連携の橋渡し、研修会等の案内を行います。

一）相談日…月曜日から金曜日（土日、祝祭日、年末年始を除く）

二）受付時間…9時～15時

三）専用相談電話…〇二八九一六四一二八六

（認知症疾患医療センター）

四）相談費用…無料

スタッフは？

センター長…衛藤進吉

（副院長、精神科）
医師（兼務） 三名

看護師（兼務） 一名
臨床心理士（兼務） 一名

精神保健福祉士 三名
（二名専従、その他は兼務）

多職種連携で包括的に認知症問題に取り組んでいます。



院内・敷地内は
禁煙となっております。

産婦人科が再開されました

産婦人科 部長 西川 正能



平成二十六年四月から産婦人科が手術、分娩を再開しました。

新病棟・新外来開設に遅れることとなり、今年四月から進めていた病棟の分娩準備も完了し、六月から分娩・新生児管理も始まりました。

上都賀病院開設当初から診療を続けていた産婦人科でしたが、医師不足のため平成二十四年四月から診療内容を外来のみに縮小しておりました。

自治医大を卒業後、義務年限を果たしている医師を派遣していただけることが決まり再開が可能となりました。

私、西川は平成二十四年三月まで常勤医として勤務しており、引き続き外来診療も続けていたこともあり産婦人科再開のお話を聞き、改めてここへ参りました。

現在、常勤医二名、非常勤医三名で診療にあたっています。再開にあたり心強かったのは、産科病棟勤務だった助産師の方々のほとんどが二年の間、院内の勤務を続けていたことです。設計時から分娩室のある四階東病棟の図面を見ておりどのようにするか楽しみにしていました。

実際、再開してからすぐに病

棟が産婦人科の患者様でいっぱいになるわけはありませんが、病棟スタッフとともに分娩・新生児管理の準備を整えて、分娩を行っております。

平成一八年に獨協医大から産婦人科の派遣が始まりましたが、その六年間は

	分娩件数	手術件数
平成一八年	一六六件	一七三件
平成一九年	二二六件	一八四件
平成二〇年	二一八件	二二六件
平成二一年	二一〇件	二二六件
平成二二年	一七五件	一三六件
平成二三年	一六〇件	一六七件

今年すぐにはこの数字には及ばないと思いますが、二名の常勤医でできる範囲で正常経過の分娩と良性疾患の手術、悪性腫瘍化学療法等の症例を増やしていくつもりです。

産婦人科の診療内容は意外と広範囲で、妊娠・分娩・産褥の管理、婦人科腫瘍、などだけではありません。女性の一生のほぼすべての時期に関わる診療科であります。

当科を受診された方には、総合病院にある産婦人科だから選んだという方が多くいると考えています。また患者様が、婦人科以外の疾患を合併している、あるいはその逆に婦人科で治療すべき合併症をお持ちの方が外来・入院に多くいらっしゃることにあります。

病院にきたついでにでも産婦人科で心配なことがあればご相談ください。婦人科は敷居が高いと言われるですが、お気軽にどうぞ。

産婦人科を始めました。今後ともよろしくお願いいたします。

第41回関東農村医学会学術総会を開催しました

上都賀総合病院は、去る7月12日(土)に第41回関東農村医学会学術総会を日光市日光総合会館で開催しました。十川病院長を学会長として「人材育成と組織の活性化」を学会テーマとし、主に関東圏内の厚生連病院から約350名の多くの参加者を迎え、盛会のうちに閉会となりました。

学会のプログラムは、まず始めに指定演題14題、一般演題77題(口演29題、ポスター48題)の合計91題という過去最大規

模での発表が行なわれました。その後、急性期病院の運営課題である「退院調整」をテーマとしたミニシンポジウムにおいて、各病院の取り組みを発表していただき、問題点等の活発な討議が行なわれました。それから、今回の目玉として千葉大学医学部附属病院の総合診療部から出題者(講師)として上原先生と鋪野先生をお招きし、各厚生連病院の初期臨床研修医が各県ごとにチームとなり、「症例診断クイズ」に挑みました。司会進行をレディオ・ベリーの鹿島田アナウンサーが担当し、会場が一体となつて大盛況なセッションとなりました。最後に、日光東照宮特別顧問(元 欄宜)の高藤晴俊さんによる「世界文化遺産・日光東照宮の謎と真実」の特別講演が行なわれ、参加者はとも熱心に耳を傾けていました。



指定演題口演の様子



十川病院長による開会挨拶



症例診断クイズの様子



ミニシンポジウムの様子

—基本理念— —地域社会への貢献—

私たちは、地域住民の総合病院として保健・医療・福祉活動を介して、地域社会の発展に貢献します。

—基本方針—

- 一、患者さんの立場を尊重し、倫理・精神面へ配慮します。
- 一、安全な医療を確保し、患者さんに信頼される医療を行います。
- 一、常に、医療の質の向上に努めます。
- 一、患者さんと、より良いパートナーシップを築きます。
- 一、地域の基幹病院として、地域社会や医療機関と連携し、住民の健康増進に努めます。

—患者さんの権利と責任—

- 一、安全で適切な医療を公平に受ける権利
- 一、個人の権利が尊重され、プライバシーが保たれる権利
- 一、病状・検査・治療・見直しなどについて、説明を受ける権利
- 一、治療法の選択を尊重される権利
- 一、私たちと一緒に病気を治すことに協力していただくこと
- 一、患者さんの療養環境を守るため、病院の諸規則や社会的ルールを守っていただくこと

職場紹介

経理課

経理課は、現在2名と少ない人数ですが病院の財務を担当する業務を行っています。

業務の内容としては、毎日の現預金の管理や伝票の入力、整理、毎月の収支実績表等の作成、毎年の予算の作成・管理などを中心に行っています。

また、現在当院では、新病院の西病棟を建設中（東棟は25年4月に開院）であり、平成26年9月には建物完成、10月中旬の開院にむけて順調に進んでおりますが、その資金計画の作成や資金繰りなども行っています。

今後、新しい病院が完成するとともに病院経営も大きく変わっていくことになるかと思いますが、地域住民の皆様に対しては、今まで以上に患者さんにやさしい質の高い医療が提供出来るよう、また職員に対しては安心して働き続けられるような、健全な病院経営に少しでも役立てるよう頑張っていきたいと思っています。



医師・看護師(保健師・助産師・准看護師)奨学生募集

～ あなたの「学びたい」をサポートします ～

当院には、医学生・看護学生のみなさんの勉学を支えるための奨学金制度があります。

奨学金の返済については、卒業後当院にて医師・看護師（貸与対象職種）として貸与期間に応じた期間を勤務していただいた場合、免除となります。

奨学金制度に興味・関心がある方は、随時ご相談に応じますので、下記までお気軽にお問合せ下さい。

〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033

かみつが厚生連 上都賀総合病院

担当：総務課(2502)

TEL0289-64-2161 FAX0289-64-2468

E-mail: soumu@kamituga-hp.or.jp URL: http://www.kamituga-hp.or.jp

当院患者支援センターでは医療ソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）が医療・福祉・介護に関するご相談をおうけしています。相談料はかかりませんのでお気軽にご相談下さい。

編集後記

記録的な猛暑の折、組合員の皆様は、お元気でお過ごしでしょうか。

今年十月には新病院建築の二期工事が完成し、病院が一新いたします。少子・高齢化社会へ向かう栃木県の地域医療への充実に向けた一歩を踏み出します。

今号は地域の医療介護福祉連携の先駆けとなる認知症疾患医療センターの開設について取り上げました。

地域の皆様に希望と安心を提供出来るよう、広報委員一同、更に努力いたしますので、よろしく願います。

(衛藤)

一般外来診療表

診療科目	受付時間 初診受付=AM8:00から開始	備考
内科	AM 8:00～AM11:00	
精神科	AM 8:00～AM11:30 PM 2:00～PM 4:30	初診はAM11:00までの受付 予約制
小児科	AM 8:00～AM11:30 PM 1:30～PM 4:00	土曜はAM11:00までの受付
外科	AM 8:00～AM11:30	土曜はAM11:00までの受付
整形外科	AM 8:00～AM11:00	
形成外科	AM 8:00～AM11:30 PM 2:00～PM 4:00	月・水曜 土曜は完全予約制 金曜
脳神経外科	AM 8:00～AM11:00	
皮膚科	AM 8:00～AM11:30 PM 2:00～PM 3:00 PM 2:00～PM 4:00	土曜はAM11:00までの受付 月曜のみ 金曜のみ
泌尿器科	AM 8:00～AM11:00	初診・再初診は予約制 土曜休診
産婦人科	AM 8:00～AM11:00 PM 2:00～PM 4:00	月曜(予約)のみ
眼科	AM 8:00～AM11:00 PM 1:30～PM 4:00	金曜のみ
耳鼻咽喉科	AM 8:00～AM11:00 PM 1:30～PM 4:00	月曜午前は休診 木曜は予約制 第1・3・5火曜はAM10:30までの受付 月曜のみ
放射線科	AM 8:00～AM11:30	水曜のみ
歯科口腔外科	AM 8:00～AM11:00	紹介患者・予約のみ 月曜休診

専門外来診療表

診療内容	担当診療科	曜日	受付時間
リウマチ・膠原病外来(予約)	内科	月・火・木	PM 1:00～PM 4:00
糖尿病外来(予約)	〃	水・木・金	PM 1:00～PM 3:00
神経内科外来(予約)	〃	木	PM 1:00～PM 3:00
呼吸器外来(予約)	〃	金	PM 1:00～PM 3:00
禁煙外来(予約)	〃	金	PM 1:00～PM 3:00
血液外来(予約)	〃	金	PM 1:00～PM 3:00
緩和ケア外来(予約)	〃	水	PM 2:00～PM 4:00
予防接種外来	小児科	月・水・金	PM 1:30～PM 4:00
1ヶ月健診	〃	火	PM 1:30～PM 3:00
アレルギー外来	〃	水	PM 1:30～PM 4:00
呼吸器外科外来	外科	月	AM 8:00～AM11:30
乳腺・甲状腺外来(予約)	〃	火	PM 1:30～PM 3:30
ヘルニア外来	〃	水	AM 8:00～AM11:30
ヘルニア外来(予約)	〃	〃	PM 1:30～PM 3:30
肝・胆・膵臓外来	〃	木	AM 8:00～AM11:30
肝・胆・膵臓外来(予約)	〃	〃	PM 1:30～PM 3:00
ストマ・大腸肛門外来(予約)	〃	〃	PM 1:30～PM 3:30
てんかん外来(予約)	脳神経外科	第1木	PM 1:30～PM 3:30
助産師産後外来	産婦人科	詳細は外来にてご確認ください。	
産後診	〃	火	PM 2:00～PM 2:30
補聴器外来(予約)	耳鼻咽喉科	第1・3・5	PM 2:00～PM 4:00
特殊検査(予約)	〃	火	PM 2:00～PM 4:00

※診療上の都合により変更になる場合がありますので、必ずご確認の上ご来院下さい。